電灯・ラジオ・貴重品などを入れた非常持ち出し袋を常備しておき、携帯電話があれば必ず持って行きましょう。

▼早めの避難を

大雨や長雨により、土砂災害が起きます。大雨や長雨により警報が発表されている時は、家の周りの状況に注意し危険と思ったら、早めに避難をしましょう。

また、子どもや高齢者の避難には誰かの手助けが必要です。常に声をかけ合い、助け合う地域の和でみんなの安全を守りましょう

避難場所は看板が目印です

周防大島町では、災害時の避難場所（左上写真参照）を決めています。いざという時のために、今一度、日頃から家族全員で避難場所と避難経路を決めておきましょう。

▼土砂災害の前ぶれは

大雨や長雨による、土砂災害の前ぶれとして、がけからの水が濁る、がけに亀裂が入る、小石がバラバラと落ちるなどの現象が起きます。

▼地域の点検を

梅雨前には、地域で水路や側溝に土砂や落ち葉などのゴミがふさいでいないか点検し、清掃しましょう。

災害を未然に防ぐためにも、今一度、家の周辺を点検しましょう。

■問い合わせ
総務課　消防防災班
☎０８２０（７４）１０００

中山間地域等直接支払い制度について

【制度の概要】

「中山間地域等直接支払制度」については、平成22年度から第３期制度がスタートしました。

この制度は、中山間地域等の農地や営農を守り多面的機能を保全するため、集落協定を結んだ集落や個別協定を結んだ認定農業者等に交付金を交付する制度です。

集落においては本制度を活用し、地域活性化に向けた取組ができます。

【交付金の活用について】

集落協定に基づいて毎年集落に交付される直接支払交付金の使途については、協定参加者の皆さんが話し合って決めていくことが大切です。この交付金を活用して自分達が暮らす地域をさらによりよいものとしましょう。

【平成22年度実施状況】

平成22年度は30の集落で取組が行われました。地区ごとの集落協定の実施状況は下表のとおりです。

■問い合わせ　農林課　農林振興班
☎０８２０（７９）１００２

◆平成22年度集落協定実施状況

地域	協定数	参加農家数	協定対象農用地面積（㎡） 田	協定対象農用地面積（㎡） 畑	協定対象農用地面積（㎡） 計	交付金（円）	集落マスタープラン 目標・活動計画 協定農用地の拡大	機械・農作業の共同化	高付加価値型農業	農産物等の加工・販売	農業生産条件の強化	新規就農者の確保	認定農業者の確保	多様な担い手の確保	担い手への農地集積	担い手への農作業の委託	集団的持続可能な体制整備	農業生産活動 農用地 利用権設定・農作業の委託	耕作放棄地の復旧・林地化	防虫対策等の保全管理	定期的な点検を行う	鳥獣被害防止対策	林地化等	簡易な基盤整備	管理方法 水路 水路清掃	管理方法 水路 草刈り	管理方法 農道 簡易補修	管理方法 農道 草刈り	多面的機能を増進する活動 周辺林地の下草刈	棚田オーナー制度・体験農園	景観作物の作付	土壌流亡に配慮した営農	体験民宿の実施	魚類・昆虫類の保護	鳥類の餌場を確保
久賀	1	8	2,212	79,796	82,008	525,596	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
大島	23	279	384,589	433,209	817,798	9,358,907	5	4	5	1	3	8	2	0	1	5	11	10	1	9	15	2	2	8	21	20	16	21	19	0	10	2	0	1	0
東和	1	2	0	10,469	10,469	96,314	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
橘	5	53	0	212,575	212,575	1,942,962	0	0	3	0	0	2	3	1	0	1	3	2	0	4	5	2	0	2	4	5	3	5	4	2	4	2	0	0	0
合計	30	342	386,801	736,049	1,122,850	11,923,779	5	5	9	1	3	11	5	1	1	6	16	12	1	15	20	5	2	10	27	27	20	28	25	3	14	4	0	0	0